
経済学部の教育理念・教育目的・養成する人材像・DP

1. 教育理念

経済学・経営学・会計学に関する専門教育と、幅広い知的関心と深い人間性を養うための教養教育を通して、実社会で活躍していくための力（専門性，独創性，応用力，コミュニケーション能力等）と人間社会を支える諸原理についての認識及び理想とを合わせもった人材を育成します。その育成のプロセスにおいて、真理を探究することの喜びと難しさを知的に体験させることによって、職場や社会において直面する様々な問題の解決に積極的・意欲的に取り組むことができる高度な人間力を涵養していきます。

2. 教育目的

経済学・経営学・会計学に関する専門的な学術知識を教授するとともに自ら研究することを促し、現在および将来の社会的要請に応えうる人材を育成することを目的とする。

3. 養成する人材像

- (1) 温かい心と冷静・合理的かつ柔軟な思考，そして不屈の精神で社会や経済が直面する諸問題に積極的・意欲的に取り組む人材。
- (2) 経済・経営に関する専門的な知識と分析手法を身につけ，民間企業，官公庁・国際機関，NPO・NGOといった国内外の組織において指導的立場で活躍する人材。
- (3) 高度専門職業人（公認会計士，税理士，フィナンシャル・プランナーなど）や高等学校教員（商業科），研究職を目指して大学院へ進学する人材。
- (4) 国際的に認められる水準の英語能力と高度なコミュニケーション能力とを駆使して，グローバルな舞台で活躍できる人材。

4. 経済学部ディプロマポリシー（DP）

ディプロマポリシーとは、教育の基本的目標を、学生が大学を卒業するときの到達水準として示した学位授与の方針のことです。

【教養1】

人間性に富む幅広い教養

人間と社会、自然と生命の諸問題に積極的・意欲的に関わっていくことのできる、豊かな知性と共感力ならびに高い倫理観を身につけている。

【教養2】

専門性を支える深い教養

経済や経営に関する専門性を活かす上で不可欠な、人間や社会の在り方に対する関心と理想を持ち、論理的な思考と大局的な判断ができる深い教養を身につけている。

【専門性】

経済・経営に関する専門的な分析力と応用力

経済・経営に関する専門的な知識、分析力・問題解決力を体系的かつ多面的に修得している。

【情報力】

情報を収集し効果的に活用できる能力

必要とされる情報を自ら収集・分析し、その成果を効果的かつ適切に活用、発信するための能力を身につけている。

【行動力】

時代と社会をリードする行動力

グローバル化と共生の時代にふさわしい国際感覚と言語・コミュニケーション能力を身につけ、地域・国際社会、組織、その他さまざまな人間関係の中で積極的に働きかけることができる。

【自己実現力】

自己実現に向けて専門的知識を生かし目標を追求する力

卒業後も主体的・持続的に自己を向上させることに意義を見出し、学ぶ姿勢を保ち、自立した個人として自らが掲げた目標に向けて歩んでいくことができる。